

令和 3 年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

鹿児島県

学校名

出水市立大川内小学校

人権課題

子どもの人権

対象学年・
取り扱った教科等

全学年・児童会（児童総会）

目標・人権教育のねらい

- ・ 「児童の権利に関する条約」について正しく理解することができるようにする。
- ・ 自分や友達が楽しい学校生活を過ごすために、どうすればいいか話し合い、よりよく生きようとする意識を育てる。

実施した内容

- ① 「児童の権利に関する条約」の話を聞き、子どもの「生きる権利」「育つ権利」「守られる権利」「参加する権利」等を保障されていることを知る。
- ② 自分や友達が楽しい学校生活を過ごすために、どうすればいいか全校児童で話し合う。
- ③ 自分や友達が楽しい学校生活を過ごすために、自分が取り組みたいことをカードに記入する。

工夫した点

- ・ 「児童の権利に関する条約」には、子どもは、幸せに生きる権利を持っていることを気付かせる。
- ・ 活発な話し合い活動にするために、事前に「児童総会ワークシート」を配布し、自分の考えを記入させた。
- ・ 自分や友達が楽しい学校生活を過ごすために、自分が取り組みたいことをカードに記入させ、全児童のカードを人権コーナーに掲示した。

他教科との
関連

- ・ 学級活動にて、基本的人権について学習した。

令和 3 年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

鹿児島県

学校名

出水市立大川内小学校

人権課題

女性の人権

対象学年・
取り扱った教科等

1・2年・学級活動

目標・人権教育のねらい

「遊び」や「服装」などを性別と関連づけてしまう意識に気付き、一人一人異なる思いがあることを受け入れ、認め合おうとする態度を育てる。

実施した内容

- ① 「女の子らしい」「男の子らしい」という言葉からイメージすることを発表する。
- ② 「これって、女の子？男の子？」について考える。
- ③ カードに書かれた「遊び」や「洋服」などを「女の子」「男の子」に分けることができるか考え、どんな分け方をしたか、自分の考えを話し合う。
- ④ 悩んだり困ったりしたものについて話し合う。

工夫した点

- ・ 事前にアンケートを取り、児童の実態を把握した。
- ・ 黒板にカードを貼って意識を高め、一人一人にカードを配って男女に分ける活動を行った。
- ・ 分けた後は、その理由についても相手を意識して話し合いを行った。
- ・ タブレットを使って、バグパイプ奏者や男性のスカート画像を見せて男女で分けることができないことを捉えさせた。
- ・ 絵本の読み聞かせを行い、一人一人に余韻をもたせて学習を終えた。

他教科との
関連

- ・ 生活科にて、女性の人権について学習した。

令和 3 年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

鹿児島県

学校名

出水市立大川内小学校

人権課題

高齢者

対象学年・
取り扱った教科等

全学年・総合的な学習の時間

目標・人権教育のねらい

- ・ 高齢者に対する偏見や思い込みを取り除き、高齢者の人権を尊重し、共に生きていく意識を育てる。
- ・ 高齢者の現状や課題、高齢者を支援し擁護している機関の取組について理解を深める。
- ・ 高齢者に対して自分たちができることを話し合い、合意形成をはかったり、意思決定したりする。
- ・ 高齢者に対する思いやりの心を持ち、親切にする意欲・態度を養う。

実施した内容

- ・ 高齢者が持っている炭づくりに関する知恵や技について話を聞く。
- ・ 高齢者の話を聞いて炭にする原木を一本一本 2 人ペアで窯の中に運び、奥の方から立てて並べていく活動を行う。
- ・ 1 か月後にできた炭を窯から一本一本運び出し、袋に詰めていく。高齢者に教えてもらったことなどを話し合い活動で振り返る。

工夫した点

- ・ 話し合いの際に、高齢者の経験に基づいた技能などのプラス面に目を向け、意見を出しやすくする。
- ・ 活動にあたり、人権教育に視点をあてた評価の基準（「体験を通し、高齢者の思いに気づいている」、「自分たちにできることや取り組んでいきたいことを考え、発表しようとしている」など）を設定した上で行き、最後にお礼を伝えたり、お手紙を書いたりした。

他教科との
関連

- ・ 学級活動や社会科で、基本的人権について学習した。

令和 3 年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

鹿児島県

学校名

出水市立大川内小学校

人権課題

障害者の人権

対象学年・
取り扱った教科等

3・4年・総合的な学習の時間

目標・人権教育のねらい

- ・ 障害には多種多様な種類があることや、外見からは不自由さが分かりにくい障害もあることへの理解を深める。
- ・ 障害のある人でも、その障害に対する周囲の理解と配慮、及び支援により、能力を活かした仕事に就くことも自立した生活を送ることも可能であることを理解する。
- ・ 障害の有無にかかわらず、誰もが同じように暮らせる社会を目指そうとする意欲を高める。

実施した内容

- ・ アイマスク体験や車いす体験をする。
- ・ 体験を通して感じたことを話し合う。
- ・ 家や学校、身近な施設や道路などで、どのようなところに不便や危険があるのかを考える。
- ・ 障害のある人でも使いやすい道具や工夫、ユニバーサルデザインなどについて調べる。
- ・ 探究活動を通して学んだことをまとめ、自分たちにできることを考える。

工夫した点

- ・ 体験活動を基に、自分たちの身近な生活へと広げながら話し合いを進めた。
- ・ 探究活動で調べた結果を報告する発表会を行い、学びを共有できるようにした。
- ・ 活動にあたり、人権教育に視点をあてた評価の基準（「体験を通し、人々の思いに気付いている」「自分たちにできることや取り組んでいきたいことを考え、発表しようとしている」など）を設定した上で行った。

他教科との
関連

- ・ 学級活動にて、基本的人権について学習した。

令和 3 年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

鹿児島県

学校名

出水市立大川内小学校

人権課題

同和問題

対象学年・
取り扱った教科等

6 年・社会科

目標・人権教育のねらい

江戸時代の身分制度のもとで、百姓や町人とは別にきびしく差別されてきた人々の制限を受けた内容や、その中で助け合いながら芸能や文化を支えてきたことを理解する。

実施した内容

- ① 江戸時代の身分制度について調べる。
- ② 幕府による百姓支配について調べる。
- ③ 百姓や町人とは別にきびしく差別されてきた人々が制限を受けてきた内容や、芸能や文化を支えてきたことを知り、自分の生き方について話し合う。

工夫した点

- ・ 人々が身分に応じて様々な生活を営んでいたことに気付かせた。
- ・ 住む場所や仕事、税の負担等が身分によって制限されていたことを押さえ、身分制度が当時の人にとって大きな影響を与えていたことを捉えさせた。
- ・ 重い年貢負担や身分制度が親から子へ引き継がれることによって、武士を中心とする身分制度が定着した様子を捉えさせた。

他教科との
関連

- ・ 学級活動にて、基本的人権について学習した。

令和 3 年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

鹿児島県

学校名

出水市立大川内小学校

人権課題

インターネットによる人権侵害

対象学年・
取り扱った教科等

全学年・学級活動

目標・人権教育のねらい

- ・ 一人一人がマナーを守り正しく利用することで、便利で安全なネット社会を築くことができる意識を育てる。
- ・ インターネットの現状や課題，トラブルに遭遇した時の対処法について理解を深める。
- ・ インターネットのトラブルに対して自分たちができることを話し合い，合意形成をはかったり，意思決定したりする。
- ・ 自分の命，他者の命も大切にするインターネットの使い方をしていこうとする意欲・態度を養う。

実施した内容

- ・ インターネットと人権に関するDVDを視聴する。
- ・ オンラインゲームやインターネットの書き込みなどの問題点をどのようなすれば防ぐことができるのかなど自分たちができる解決策を話し合う。
- ・ 話し合い活動を通して学んだことをまとめ，交流する。自分たちにできることを考える。

工夫した点

- ・ 話し合いの際に，インターネットを利用して怖い経験をしたことはないか，また，その時，どんな対応をしていたか自分の生活に視点を当てさせる。
- ・ 活動にあたり，人権教育に視点をあてた評価の基準（「インターネットの現状や課題，トラブルに遭遇した時の対応の仕方について理解している」「自分たちにできることを考え，発表しようとしている」など）を設定した上で行った。
- ・ 講師の先生に最後にお礼を伝えたり，お手紙を書いたりした。

他教科との
関連

- ・ 学級活動にて，基本的人権について学習した。

令和 3 年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

鹿児島県

学校名

出水市立大川内小学校

人権課題

外国人の人権

対象学年・
取り扱った教科等

3・4 学年・外国語活動

目標・人権教育のねらい

- ・ A L Tとのやり取りや交流活動を通して、外国の言語や文化への理解を体験的に深める。
- ・ 相手の思いを汲み取ったり、相手に配慮しながら関わったりする活動を通して、互いの思いやよさを認め合って、より深く関わろうとする意欲や態度を養う。
- ・ 相手に伝わるよう工夫しながら話したり、反応しながら聞いたりして、相手に配慮したコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。
- ・ 互いの文化を認め合い、人権を尊重し合おうとする態度を育てる。

実施した内容

- ・ A L Tの自己紹介を聞いて、好きな食べ物を知る。
- ・ A L Tの好みに合わせて、紙ピザを作る。
- ・ 紹介の仕方やより伝わるための工夫について、考えたり話し合ったりする。
- ・ 自分が作った紙ピザを紹介し、渡す。
- ・ A L Tと一緒にレクリエーションをして交流する。

工夫した点

- ・ A L Tが喜んでくれるようなピザを作るという明確な相手意識と目的意識をもたせ、児童の意欲や関心を引き出した。
- ・ A L TとH R Tによるバッドモデルとグッドモデルのやり取りを見せることで、児童がよりよいコミュニケーションの方法に気付くことができるようにした。
- ・ 最後にA L Tから感想をもらうことで、言葉は相手のことを知り人と人との仲良くなるためにあるということを実感できるようにした。

他教科との
関連

- ・ 道徳で、国際理解について学習した。

令和 3 年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

鹿児島県

学校名

出水市立大川内小学校

人権課題

ハンセン病患者等と人権

対象学年・
取り扱った教科等

5・6年, 体育(保健)

目標・人権教育のねらい

- ・ ハンセン病について正しく理解することができるようにする。
- ・ ハンセン病に対する偏見や思い込みを取り除き、ハンセン病患者の人権を尊重し、共に生きていく意識を育てる。

実施した内容

- ・ 病原体に感染して起こる病気について確認する。
- ・ 動画「ハンセン病問題を知る」を視聴する。
- ・ ハンセン病について分かったことを話し合う。

工夫した点

- ・ 感染症は、病原体に感染して起こる病気であることや多くの種類があることを押さえた。
- ・ ハンセン病に関する理解を深めるために、動画視聴を通して分かったことをグループで話し合わせた。
- ・ ハンセン病は、「らい菌」の感染によって起こり、感染力は弱く、感染しても発病することはほとんどないことを押さえた。
- ・ 偏見や差別をなくすために、相手の人権を尊重することの大切さについて考えさせた。

他教科との
関連

- ・ 体育(保健)の「病気の予防」の発展的学習として行った。

令和 3 年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

鹿児島県

学校名

出水市立大川内小学校

人権課題

性的指向、性自認

対象学年・
取り扱った教科等

5・6年・学級活動

目標・人権教育のねらい

- ・ セクシャルマイノリティの人々の生きづらさに気付き、共感し理解する。
- ・ 様々な性があることを知り、また、一人ひとり違っていいことに気付く。
- ・ 自分の心とからだを見つめる。

実施した内容

- ① 性には4つ性があることを知る。
- ② セクシャルマイノリティの人々について知る。
- ③ どのような言動がセクシャルマイノリティの人々を傷つけるか話し合う。
- ④ 授業を通して考えてことをカードに記入し、自分の心とからだを見つめる。

工夫した点

- ・ 性には、「身体の性」「心の性」「好きになる性」「表現する性」があることを知らせた。
- ・ 性のあり方が様々であることを理解させるために、事前に準備した性についてのアンケート資料を配布した。
- ・ 新聞記事やニュースから同性婚やパートナーシップ制度への取組が日本でも始まっていることを知らせた。
- ・ 学習の成果を学級の人権コーナーに掲示した。

他教科との
関連

- ・ 社会の学習にて、基本的人権について学習した。